





トゥアン新司祭

新司祭トゥアン神父は、貴重な働き手としてキリストに招かれ、「あなたは人間をとる漁師になる。」(ルカ五の十)のみことばに応えてキリストの司祭になりました。実に、広島教区十六年ぶりの慶事です。しかし、中心になって働くべき教区司祭はまだまだこれでも十八人(うち司教二人)だけです。司祭になるまでの道のりもそうですが、司祭になってからの道のりも、先輩・同僚の司祭や修道者、信徒の育み合いがなければ、成長はおろか生きていくことさえできません。

育もう聖週間の新司祭

わたしは、今から三十八年前の新司祭当時を思い出しております。着任早々聖週間の典礼、説教すべてを、主任司祭立会いの下、任されたのです。

ふるえつつ

聖週間のなにやかや

当のわたしは、司祭に一番大切なはずの典礼、しかも聖歌が大の苦手でした。それに、あがり症がますます輪をかけて、最初の聖木曜日の祭儀から、儀式、説教、聖歌も台無しに近かったです。それでも、主任司祭は、「上手だったぞ！明日も明後日も、その調子でやれ」とおだててくれました。わたしにとって、その時の「聖なる三日間」は、まさに受難であり、大解放の「アレルヤ」でもあったのです。

アレルヤと

聖なる三日が

過ぎにけり

それにしても、あんな下手な祭儀を温かく受け入れ

てくれた、当時の「褒め上手のみなさま」に感謝しています。「褒め上手は育て上手」です。育て上手になりましょう。

三月二日には、猪口大記助祭も誕生し、翌日の三月三日には、出身の鳥取教会ミサで、素晴らしい初説教をしました。

雛壇で

猪口前田仕え合ふ

ロイ神学生も、三月二十七日、「司祭助祭候補者認定式」を受け、スータンの着衣者となり、神学科に進級です。また、山下健吾さん、三宅仁孝(まのり)さんが、四月から日本カトリック神学院に入学いたします。

今後とも広島教区に多くの司祭が誕生しますように、そして、七百五十万人余のための収穫に貴重な働きがどんどん増えますように、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

(トゥアン新司祭の叙階については四面に掲載しています。)

ワールドワイド マリッジエンカウンター  
ウィークエンドへのお誘い

マリッジ エンカウンター

ター(ME)ウィークエンドとは、家庭や社会のなかにある、様々な関わりを基礎となつている夫婦の関わりを深めていくための方法を体験的に身につける二泊三日のプログラムです。夫婦がお互いを、そして結婚という結びつきを新鮮な目で見直し、二人の将来を見つめるとてもよい機会です。また、自分たち二人と神との関係、自分たちと周囲の人々との関係をも深く見つめるひとときです。

夫婦だけでなく、人々との関わりを深めたいと思つている司祭、修道者も参加できます。MEウィークエンドはカトリックの運動です。

日時：十月十二日(土) 二十時～十四日(月) 祝)十八時

場所：福山暁の星学院研修センター

対象：夫婦(結婚年数、信者・未信者を問わない)、司祭、修道者

申込・お問い合わせ：高森(福山教会084-952-1861)

私は マリッジ エンカウンターに大きな期待をかけています(福者 教皇ヨハネ・パウロ二世)

私には マリッジ エンカウンターに大きな期待をかけています(福者 教皇ヨハネ・パウロ二世)

ヨハネ・パウロ二世)

殉教者の信仰と勇気を受け継ぐために

乙女峠まつり  
2013 信仰年



- 5月2日(木) 津和野幼稚園のホール 19:00 「今、日本への、乙女峠からの叫び」 林尚志 神父
- 5月3日(金・祝) 10:30 聖母行列 津和野教会～乙女峠 12:00 野外ミサ 乙女峠 司式：前田 万葉 司教 津和野カトリック教会 TEL 0856-72-0251

# 重要文化財・世界平和記念聖堂の

## 耐震調査の着手

世界平和記念聖堂保存活用委員会

青葉 憲明

重要文化財・世界平和記念聖堂の保存・活用活動の近況をご報告します。

すでに教区報(二〇一二年四月号)でお知らせした世界平和記念聖堂の耐震調査が文化庁の平成二十五年予算で認められる見通しとなりました。本年度の国の予算が国会で決定され次第、補助金の申請手続きを行い、調査に着手する運びとなります。

調査は、七月頃から二力年に渡って実施されます。調査の目的は、今後予想される東南海地震などの大規模地震に対する建物の構造上の安全性をチェックすることにあります。日頃、聖堂で行われるミサに与かるカトリック信者だけでなく、平和を祈願するために聖堂に参詣される人々、平和学習で訪れる小中学生などが、聖堂内外で不測の事故に遭うことのないよう、建物の所有者であるカトリック広島教区が安全対策を事前に検討するものです。調査の具体的な取り組みについては、詳細が分かります。随時お知らせする予定です。皆様には、ご不便をおかけしますが、趣旨をご理解の上、ご協力を頂くようお願いいたします。

さて、長崎教区にある国宝や重要文化財である教会堂と同じように、世界平和記念聖堂を地域の文化財として長期にわたって保全する役割が所有者である広島教区や幟町教会に委ねられています。記念聖堂の本来の役割は何であるか、ここであらためて考える事も大切です。

献堂二十五周年(一九七九年)のパンフレットに、記念聖堂の使徒・愛宮フサル神父様は、「記念聖堂建設を思い立ちましたのは、初めから単に記念のためというだけではなく、それよりも世界平和が一日も早く実現するように努力するという目的のためでした。」「原爆の使用禁止という事のみにとどまらず、われわれは戦争そのものを一切止めるよう努力する使命を与えられた事を強く感じている。」「戦争を避けるためには、『新しい人間』が必要。人類の誇りである科学技術を使いながらも、これを超越した新しい人間は、一方面的理論によって支配される人間ではなく、霊によって支配されている人間です。その人こそが心において永久的な平和を保っている人間なのです。」「人類の永久の平和は、

このような個人の平和から出発したものでなければ、いつまでも世界の中の戦争が続くでしょう。ですから、世界平和のための努力が成功するためには、われわれが先ず平和の人間にならなければならないのです。」と語られています。

同じパンフレットには、昨年十二月に帰天された野間重信神父様(献堂二十五周年当時、幟町教会主任司祭)が、「世界平和記念聖堂建設の経緯の整理に手をつけて見て、色々貴重な事実を知り、聖堂建設が本当に大変なものだったと驚き、頭を下げております。」「一言でいうならば、私たちは『大変な宝物』を受け継いでいるという事になります。」「私たちが受け継いだこの世界平和記念聖堂は、今後一層これからの世紀の人類意識の上に維持されつつ発展し、尊い原爆犠牲者の慰霊と、世界平和のための祈りと福音宣教の拠点とならなければなりません。」「と述べておられます。やもすれば、献堂の趣旨や経緯を知りながらも、聖堂保存のために費用を掛けなくても良いという声を耳にする事があります。本当にそれで良いのか、「平和の実現」を託された私たち広島教区民自身の問題として、考えることも大切なことです。今後、耐震調査の結果に基づく耐震工事などに数億円の費用が見込まれると思われませんが、私たちの福

童宣教の証しとなる世界平和記念聖堂の保存に皆様の心を一つにし、私たちの信仰の先人達の恩義に報いることに思いをめぐらすことができれば幸いです。

各小教区にはそれぞれの事情があることを承知の上で、広島教区の平和のシンボルである世界平和記念聖堂の保存・活用に、一層のご理解とご支援を頂きますようお願い申し上げます。

十神に感謝。

保存のための郵便振替口座

口座番号:

01320-3-109791

加入者名:

カトリック広島教区

※通信欄に、「世界平和記念聖堂保存」または「重要文化財」とご記入ください。

### 世界平和記念聖堂の

有料駐車場が完成

広島司教区 事務局 局長 原田 豊巳 神父

このたび、旧フサル会館の跡地の一部にコインパーキングを整備いたしました。

これは、愛宮フサル記念館及び広島信望望夢園・聖母幼稚園の建替に伴い、以前あった月極駐車場の一部を取り壊したため、教区財政の財源確保と収



向かって左側、コインパーキング

益性、管理業務の負担軽減から考えられたものです。従来からある聖堂北側の司祭、信徒用の駐車場は、これまでと同じように利用できます。なお、司教館や幟町教会に用事があつて自動車で来られる方は、幟町教会の受付にある駐車カートの掲示をお願いしております。お手を掛けますが、ご協力ください。また、教会に用事のない信徒の方や近隣の住民の方が教会の駐車場を利用されているのが散見されますので、利用者の一人一人がお互いに注意し合い、トラブルのないよう、気持ちよく安全に利用できるよう心掛けてください。特に、敷地内の歩行者や隣接の幼稚園児には十分に気を付けて、事故のないようお願いいたします。なお、有料駐車場の整備に伴い、北側駐車場への車の進入経路が、カトリック会館寄りの入口に変更されます。これまでの幼稚園寄りの入口は、出口となりますので、ご注意ください。

# 新司祭誕生

## ヨハネ グエン クアン トウアン 新司祭

### 司祭叙階式に七百人を超える参列者

三月二十日、春分の日、小雨の降る中、午後二時からベトナム出身のヨハネ グエン クアン トウアン助祭の司祭叙階式が感謝と祈りのうちに盛大に行われた。多くの日本人、ベトナム人信徒が広島教区カテドラル世界平和記念聖堂に集まり新司祭の誕生を祝った。広島教区司祭の叙階式としては、十六年ぶりとなる。

叙階後は、幟町教会の助任司祭として司牧の任にあたる。

←左の写真  
山下神学生、猪口助祭、前田司祭、アン新司祭、三宅司祭、三宅神学生

↓下の写真  
叙階式の集合写真



イエス・キリストに  
従うわたし

ヨハネ グエン クアン  
トウアン 新司祭



神の慈しみと憐れみにより、わたしヨハネ グエン クアン トウアンは司祭叙階の恵みをいただきました。今までの歩みを支えてくださった皆様のお祈り、ご指導、ご支援で、わたしが司祭職への召命の道を歩み続けてくることができました。心を心から感謝申しあげます。

わたしは自分の司祭召命について振り返りながら、神に祈り、熟考し、聖霊によつて、わたしの全く自由な意志により、広島教区の司祭に叙階していただきました。従って、神の招きの声を心に深く受けとめ、広島教区の司祭団の一員として司教様のよき協力者とな

ることになりました。

司祭になり、共にすべてを捨ててイエス・キリストに従う者となるのです。それはイエス・キリストの呼びかけに応えて従っているわたしは自分自身で寛大な心、奉獻と奉仕の精神を持ってイエスに従います。

「わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのため、また福音のために命を失う者は、それを救うのである」(マルコ八の三十四―三十五)。この福音の個所が私の心に響いてイエス・キリストの司祭の道を選びました。

だから、イエス・キリストの司祭は個人の深い霊的歩みのうちで内面化し、生きなければなりません。キリストご自身と深く内的な交わりを持つようになり、自分の奉仕職と一致しようとする歩みの中で、主が教えてくださり、教会が伝えてきたすべてのことを自ら信じて、受け入れ、生きよ

うと努めます。

司祭は自分のことや自分の発見したことを語るのではありません。むしろ司祭はともにおられるキリストの名で教え、真理を示します。これはキリストご自身であり、キリストのことばであり、キリストの生き方、歩み方です。

司祭職は、人生の安定を得、社会的地位を獲得するための道ではないからです。だれも司祭職を自分に与えることもできませんし、自分からそれを求めることもできません。司祭職は主の呼びかけに応えて、主のみに応えることです。特に司祭の祈りの生活は必要であります。祈りにおいてイエスとの人格的な出会いや父なる神との信頼に満ちた対話、そして聖霊の深い体験を求めるよう日々努力することが必要だと思えます。

私が司祭になってもまだ人間性を持っていますので弱い部分がたくさんあります。司祭召命を守って、続けていけるようお祈りお願いいたします。

# トゥアン新司祭誕生に寄せて

日本カトリック神学院  
院長 白浜 満 神父

この度、叙階の秘跡を受けて広島教区の司祭となられたトゥアン神父様に、まずは、心からお喜びを申しあげたいと思います。

また、ご自身の司教職の中で初めて司祭の叙階の誕生を祝われる前田万葉司教様と広島教区の司祭、修道者、信徒の皆さんにも、心からお喜び申しあげます。新司祭の誕生は、神様から



与えられる恵みの中で大きな恵みの一つですが、トゥアンさんがベトナムより日本にいられてから叙階の日まで、長い間、彼の召命のために祈り支えてくださったすべての方々に、心より感謝申しあげます。

トゥアンさんが来日されてから今日の喜びの日を迎えるまで、言葉、食生活、文化の違い、さらには神学院の生活の中でも、大きな困難がいくつもあったことでしょう。しかし、トゥアンさんは、忍耐強く、笑顔を浮かべながら、これらの壁を乗り越えて来られました。トゥアンさんは、神学院の共同体の中で、他の人々を和ませる性格の持ち主でした。また、自ら進んでベトナム料理を作ってわたしたちに振る舞ってくださいました。とっても美味しかったです！トゥアンさんは、とくに最後の一年

間、助祭として同級生のまともな役となつてくださいましたね。ユーモアのある温かい人柄のトゥアン神父様の周りには、自然に人々が集まってくるような気がします。

トゥアン神父様は、自分の故郷ベトナムを離れて、この日本の地で、教区司祭として、また同時に宣教師として、これから人生を神様に奉献しようとしておられます。「信仰の年」という記念すべき時に、司祭叙階の恵みを受けたトゥアン神父様に、わたしは聖パウロの次のことばを、はなむけの言葉として送りたいと思います。

「わたしの言葉もわたしの宣教も知恵にあふれた言

葉によらず、霊と力の証明によるものでした。それはあなたがたが人の知恵によつてではなく、神の力によつて信じるようになるためでした。」(一コリ二の四一五)

神様の知恵と力がいつもトゥアン神父様の中で働きますように。そのために、どうぞ、「わたしは世の終わりまでいつもあなたがたと共にいる」(マタイ二十八の二十)と仰せになつているイエスキスさまに信頼して、新司祭としての生活をスタートしてください。

トゥアン神父様のお働きの上に、神様の豊かな祝福があるように、心からお祈り致します。



トゥアン新司祭に按手する前田司教、右側は、ロイ神学生

東京大司教区  
西川 哲彌とみや 神父

トゥアンさん、司祭叙階おめでとございます。

浅草教会の信徒の方々が、大喜びです。上野教会や本所教会の信徒の方々も喜んでおられます。分け隔てなくだれにも暖かいことばをかけてくださいましたね。みんなトゥアンさんが大好きです。人が集まっていると、そつと中に入つて、ニコニコしながら静かに聴いてくださいました。トゥアンさんがいると、みんなほつとしていましたよ。それは、まるでイエスキスのようでした。

いよいよ神父様です。待ちに待った司祭職が授与されました。これから生涯、司祭としての生活が続きますね。どれだけの人が神様に導かれ、どれだけの人が救われる事でしょう。楽しみです。何しろ、神学校を受けたときの六人がトゥアンさんを除いてみんないなくなつたのですから、一人で六人分働く運命

を背負っているのです。頑張るしかないでしょう。

「静かに、暖かく、細やかに気をつかいながら」トウアンさんの持ち味を、これから出会う方々に振る舞って差しあげてください。きつと、みんなが喜んでくださるにちがいありません。

翠町教会 吉川 弘之

トウアンさん、司祭叙階誠におめでとございませす。翠町教会の信者の皆さんと共に心からお祝い申し上げます。

習慣や文化の違う世界でのご苦労は並々ならぬものがあったことでしょう。九年前に翠町教会での生活が始まって、一番の苦労は、言葉の問題だったと思えます。日本語の学校へ通って勉強し、資格を取るまでかなりの時間と努力が必要でした。

しかし、めげることなく、司祭叙階という大目標に向かって頑張ってこられた努力がこのたびの叙階につながったと思います。



司牧実習（浅草教会）

トウアンさんは、明るく、楽しく、あの風貌から人なつっこいところもあり、教会でも親しく接することができました。

時には、料理の腕前を見せて、ベトナム料理を作りご馳走してくれたたり、信者の集まりがあれば、お得意のギターの弾き語りや歌を披露したりして、我々を楽しませてくれました。

トウアンさんの助祭叙階の時、前田司教様のお話の中で「主に仕えるように、人々にも愛と喜びとをもって仕えてください」という言葉がありました。

司祭という務めは、素晴らしいことであり、また大変なご苦労もあるかもしれません。

翠町教会にとって、息子

のようなトウアンさんが司祭となり、新しいスタートをすることを大きな喜びと期待をもってエールを送りたいと思います。どうぞ今後は、健康に留意されて、司祭職が全うできるようなあなたの持てる力を十分に発揮してください。そして一日も早く翠町教会の主任司祭として着任されることをみんなで祈っています。



幟町教会 石浜 節子

信仰年に当たり、聖霊に導かれ神様から司祭職を頂いたお恵み、おめでとございませす。

私たちが、トウアン神父様からご指導頂いた中で、「イエスの力と命が、その人々の苦しみに現存され、励ましておられます。私たちの祈りは、キリストの救いにつながり、キリストの平和が世界を平和にしてくことでしょう。」と言われたことが、としても心に残っております。この教えを大切にして、祈り続いていきたいと思ひます。

これからも、私たちをご指導してください。

トウアン神父様が、今日までのように明るく笑顔で、キリストの十字架の愛の喜びのうちに、神様の道具として働きになり、聖霊の力が働き、全世界の人々が、慈しみの業を行うことに心からお祈り申し上げます。

猪口神学生 助祭叙階

助祭叙階の恵み

猪口 大記 助祭

三月二日、助祭叙階の恵みを頂きました。

今までのご支援に感謝申しあげると共に、今後もしもご支援・ご指導くださいませす。様、宜しくお祈り申し上げます。

先日の叙階式では、僻地鳥取に遠路はるばるお越し頂き、多くの方々にお祈り頂きました事、望外の喜びでございました。心より感謝申しあげます。司教様をはじめ、現地でご準備くださいました鳥取教会の野寄神父様と信徒の皆様、共同





左から前田司教、猪口新助祭

司式くださった司祭団の皆様、ありがとうございました。

私の為ではなく、教区の青少年が召命を考える契機となればと、せめてその一助となればと願いましたところ、ご賛同くださった多くの方々には、広く呼びかけバス等ご手配頂けました事、感謝の言葉もございません。

叙階は、個人的な出来事ではありません。助祭は、直接的には司教への奉仕を目的とはしますが、司教と司祭の下、司祭団に仕え、教区のために奉仕する教区行事です。特に、司祭叙階の前段階としての一時的助祭職であり、最終的には司

教の協力者である司祭団への加入を目指すものであります。この事を肝に銘じ、これから一層励む所存です。

キムヨンス  
**金楹洙助祭 司祭叙階**

驚きと感動 そして感謝の  
釜山巡礼

大建アンドレア金楹洙神父様の叙階式に参加して

玉野教会 三宅幸子

二〇一〇年玉野教会献堂三十周年を迎えた年のこと。主任司祭アンドレア金起瑩神父様のお国から、黄司教様をはじめ、多くの若い神父様が度々お祝いにかけつけてくださいました。若い神父様をお迎えする度に、私は韓国の教会を是非とも訪れてみたいという思いに強くかられました。この度、その願いが叶えられ、神様に招かれ喜び勇んで参加することが出来ました。

釜山ではまず、司教館を訪問し、五輪台殉教記念会館、そして大神学校と見学させていただき、その規模

の大きさに大変驚きました。そして何処に行つても、司教様をはじめ、神父様、シスター、信者さん方と出会う人々の笑顔と優しい声かけに接し、その歓迎ぶりに胸が熱くなりました。

二〇一二年十二月二十八日、叙階式当日の朝、釜山のカタドラルである南川教会に一歩足を踏み入れると同時に、力強く美しい聖歌に迎えられました。聖歌の練習中でしたが、その聖歌隊の隣に私たちの席が用意されていて、叙階式の様子がよく見える席でした。

十四名の司祭誕生、六名の助祭誕生という夢にも想像したことの無い現実が、大きな南川教会の中で厳かに進められ、天と地の教会が共に歓びあうミサであることを確かに感じ、天使達の飛び交う姿をも想像しました。

諸聖人の取り次ぎを願う連祷を唱えながら、床にひれ伏されたお姿、司教様として多くの先輩司祭のみなさんから祝福を受けられるお姿、その中におられた大建アンドレア金楹洙神父様

のお姿を目で追いながら、「司祭叙階おめでとうございます。」とお祝いすると共に「厳しい召命の道を着実に歩まれますように。」と心からお祈りいたしました。

こんなにも多くの神父様方が集合された様子を初めて見せていただいた私は、どれほど多くの信者さんたちが祈りの内に支えておられるのかと思うと、自分の信仰の弱さを恥ずかしく思いました。宣教師として派遣されているアンドレア金起瑩神父様の熱い指導のもと、カトリックの信仰の道へ強く導かれていた現在に改めて感謝の気持ちに満たされた巡礼となりました。

(十二面のひと粒に金楹洙神父の記事があります。)

ベトナム出身のロイ神学生、助祭・司祭候補者に認定される

三月二十七日、世界平和記念聖堂で、前田司教司式による聖香油ミサとロイ神学生の助祭・司祭候補者認定式が行われた。

ホアン ドウク ロイ神学生は、ベトナム出身。二〇〇七年に来日。岡山市で日本語を学んだ後、広島教区の神学生として日本カトリック神学院東京キャンパスで二年間の哲学を修了。四月から福岡キャンパスで神学を学ぶ。

新教皇フランシスコ誕生



教皇フランシスコ

教皇ベネディクト十六世の退任に伴い、三月十三日、第二六六代教皇としてアルゼンチン・ブエノスアイレス教区大司教のホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿(七十六歳)が選出された。新教皇名はフランシスコ。教皇フランシスコは、中南米出身、イエズス会士であり、いずれも史上初となる。

# 東日本大震災支援

祇園教会 藤本 良子



仮設住宅の集会所で

冬休み被災地支援ボランティアは、山口ブロック主催で六日間、岩手県大槌町での活動でした。山口ブロックでは柴田神父様の主導で年間三度の被災地訪問活動が続けられており、今回、広島のみ園教会からも五名が合流させて頂く事になりました。山口・防府・宇部・そして東京からもカトリック幼稚園の繋がりで、また教会の繋がりでその事を知り、全部で十三名が集まりました。大きく募集をかける事ではなく、思いのあるものが草の根的に繋がり、支援グループは継続的

に広がっています。現地は瓦礫が綺麗に片付いただけで、被災した方々は住まいをはじめ、何もかも仮の生活のままです。新しい姿を決めきれない町は復興に進めず、時をとめています。そんな中で、私たちは仮設住宅の集会所で被災した方に沢山の笑いを届けるプログラムや、山口名物「ぶぐ雑炊」をふるまい、合間に被災した方から、当時の事や今の胸の内を伺いました。その経験は、広島に帰ってから、私たちの活動の力となりました。二度の報告会。現地で必要な支援物資を教会で募り現地に送る、被災地手仕事プロジェクトに定期的に注文をお願いするなど、物のやり取りを通して被災地との繋がりが続いています。また、今回若者の動きは特に印象的で、三人の学生たちは自主的に仕事を見つけ、いつも率先して働いていました。広島に帰ってか

らも報告会、その準備、広報紙への寄稿と、試験や学校活動の忙しさの中、協力を続けてくれました。参加者の一人の大学生は「支援活動の中で感じる無力な自分を、毎朝ミサに与る事で励まして貰う経験をした。教会の一員として参加できて良かった」と現地での事を話してくれました。震災から二年、悲しい事に、風化が話題に上りまに、私たちが忘れないためには、何かしらの行動が求められている時なのではないでしょうか。現地はまだまだ支援を必要としています。また、若者たちが被災地に入ることで頂くお恵み、彼らの言動から教会の将来への希望を感じた六日間でした。

郵便振替口座番号：01310-0-16760 加入者名：宗教法人カトリック広島司教区 通信欄には「サポートセンター」とご記入ください。

広島司教区災害サポートセンター収支報告 (2011年4月1日～2013年2月28日現在)

収入	献金	13,978,519
支出	支出合計	2,866,242
	事務運営費	24,410
	振込手数料	24,410
	旅費交通費	559,932
	支援費(派遣者の経費を含む)	2,281,900
	経費	1,075,000
	送料	37,900
	物資購入	169,000
	「地ノ森いこの家」支援	1,000,000
繰越		11,112,277

## J-CaRM広島便り

### 勉強しながら 交流を楽しんでいます

― 幟町教会『日本語教室』 ―

教室が早や六年目を迎える。これまで十三人の日本人ボランティアが「先生」としてミサ前後や平日に教えてきた外国籍「生徒さん」は五十人を超えた。その一教室を訪ねてみた。

― 森岡ローズさん、成果はいかがですか？

「幼稚園児だった娘も今は小学四年生になりました。娘の学校での成長は速いですが、《漢字力》はまだ私の方が上ですよ。六年生までの漢字をここでしっかり習いましたからね。高速道路の標識で地名をサラッと読んだら主人がびっくりしました。」(笑)

― 尾山知加子先生、こんなに長く続いたコツは？

「お互いが楽しんでいからでしょう。私としては、ちょっと背中を押してあげる、見守っていてあげる姉の気持ちでした。」

― どんな風に楽しみました

か？

「勉強だけでなく、フィリピンのこと、テレビ番組や料理や季節の行事のこともおしゃべりしました。今やフィリピンのことなら私はちよつとした『物知り』になりましたよ。(笑) デパートの物産展や津和野巡礼に行った『課外授業』も楽しい思い出です・・・明るい国民性の皆さんから私の方がパワーをもらってきました。」

― 講師体験は初めてでしたか？

「はい、当初色んな方からアドバイスを頂きましたが、結局は試行錯誤でした。構えないで始めれば日本人ならどなたでも出来ると思います。」

― ローズさん、これからも頑張ってくださいね。



森岡ローズさんと尾山知加子さん



聖・ティエゴ喜斎の遺骨を迎えて (III)

シスター高木孝子 (ノートルダム清心女子大学学長)



前号に引きつづき、初代広島教区長であったイエズス会

士・デーリング大司教の畫簡を通して、聖ティエゴ喜斎の生誕地・岡山とナミュール・ノートルダム修道女会との関わりについて、述べてみたいと思う。

デーリング大司教は一九二四年三月八日付の畫簡で、シスター・フランセスに「できるだけ早く」シスターたちを派遣してくれるよう新たに要請した。

シスターたちは、大司教の強い要請を受け、新しい宣教のための準備段階に入った。シスター・フランセスはメリノール会が運営する旅行会社と連絡をとり、太平洋郵船の船を予約した。

シスターたちが乗船する

レジデント・ウィルソン号は、七月二十二日にサンフランシスコから出航することになった。サンフランシスコへの途上、シスターたちは、オハイオ州とカリフォルニア州にあるノートルダム会の修道院に立ち寄っている。

院長のシスター・マリー・クレア・レイヒーをはじめとする六名のシスターたちは、七月二日に鉄道でボストンを出発し、八日、カリフォルニアのベルモンドに向かい、十二日に到着している。そこにはノートルダム会が設立母体である大学があり、そこでしばらく過ごした一行は、予定どおり二十二日に神戸へ向けて出航したのである。

八月九日に船は神戸に着いた。シスターたちは、宝塚の聖心会の修道院で五日間を過ごし、十四日に岡山へ無事到着した。

ノートルダム会は一九二四年八月に清心高等女学校を譲り受け、その後一九四四年四月に専門学校を創設したのである。

大戦中、アメリカ人のシスターたちは抑留と本国送還されたが、一九四六年十月に岡山へ帰ることができた。こうして戦後まもなく、ノートルダム清心女子大学は、一九四九年四月に、岡山で唯一の四年制の女子大学として開学したのである。

今日、聖ティエゴ喜斎のご加護のもと、本学は学部・二学部六学科、大学院・二研究科六専攻を有し、約二千三百五十名の学生たちが学んでいる。また、アメリカ合衆国、イギリスをはじめ、欧米とアジアにまたがって十九の留学協定大学等をもっている。私たちは世界に開かれたカトリック大学として、

二十一世紀のリーダーたらんとする人々にふさわしい学びの場を提供していきたいと願っている。

なお、本学では、今年七月に「清心フェリーチェ (Felice 幸せな)」と名付けられた、生涯学習センター (Continuing Education Center) を開設する。そこにいくつかのプログラムを設けて卒業生や地域の人々に学習の場を提供し、その教育課程を通して、岡山の地の文化や社会に寄与したいと考えている。

多くの方々のご賛同とご協力をお願い申し上げます。また、ご参加をお待ちする次第である。(終わり)

広島教区 司祭人事異動 (新任地 ← 前任地)

《イエズス会》

- モレノ 神父  
山口教会協力司祭 ← 浜田教会
- 西山 和男 神父  
浜田教会主任司祭 ← 津和野教会

《教区司祭》(着任は4月14日 日曜日)

- 山口 道晴 神父  
笠岡教会主任司祭 ← 福山教会
- 瀧井 英昭 神父  
福山教会主任司祭 ← 笠岡教会

《淳心会》

- フレデリック 神父  
福山教会助任司祭 ← 倉敷地域共同宣教司牧チーム
- パトリック 神父  
大阪大司教区 ← 福山教会

【新任】

- 《教区司祭》  
トゥアン 神父  
幟町教会助任司祭

司祭・修道者のダイヤモンド・金・銀祝

◆ダイヤモンド祝60周年◆

《淳心会》津山教会

ロジェ・ヴァン・デ・ワール 神父

一九五三年八月二日叙階

《援助修道会》(楠木修道院)

シスター 満居 安子

一九五三年九月八日初誓願

◆金祝50周年◆

《イエズス会》長束修道院

ミゲル・ラフォント 神父

一九六三年三月十八日叙階

《イエズス会》長束修道院

ラモン・デ・ヴァルス 神父

一九六三年三月十八日叙階

《淳心会》檣灯センター

デウィルデ・ミッシェル 神父

一九六三年八月四日叙階

《援助マリア修道会》長府修道院

シスター 春日 撮子

一九六三年三月二十五日入会

《援助修道会》三篠修道院

シスター 阿部 光子

一九六三年九月十二日初誓願

◆銀祝25周年◆

《広島司教区》倉敷チーム

野中 泉 神父

一九八八年三月二十一日叙階

地区便り

伯雲ブロック

信仰年開幕から半年が過ぎ、あとひと月で教区創立九十周年記念日を迎える。こうした中、伯雲ブロックでは、一月十三日に新年研修会を開催し、新年度の事業計画や教区からの連絡・指示事項の確認を行った。

新年度の「バスで行く教会行事」として、乙女峠巡礼(五月三日)、永井隆追悼平和祈念ミサ(九月八日)、伯雲勉強会(九月十五日)、教区金銀祝賀ミサ(九月二十三日)、信仰年閉幕ミサ(十一月二十四日)に参加するほか、司教様公式訪問(出雲六月二日、米子七月七日)や松江教会献堂五十周年記念ミサ(六月二十三日)で前田司教様に当地域を訪問していただく予定である。終わりにクレド・ドミニネを全員で合唱して会を閉じた。なお、高速道路が三月三十日に松江から三次東JCTまで開通し、二時間半

程度の所要時間で陰陽が結ばれることとなり、人や物・経済・文化・観光面などの交流の活性化と地域振興が期待されている。

(佐野卓司)



岡山・鳥取地区

\*平和推進チーム報告

信教の自由を守る?・11集会/二月十一日(月)、ステイブン・リーパー氏(広島平和文化センター)をお招きして講演会。テーマは「キリスト教、平和文化と核兵器」。激しい資源争いの時代に入り、生き方を根本から変えないといけない時期が来た。平和を実現するために、宗教者の、日本の使命がある。(プロテスタントとの共催、於岡

山教会)

「平和アピール1981」記念行事/講演会の講師は金起瑩神父様(玉野教会)。テーマは「キリスト、私たちの平和」平和は神様の愛を知るところから来る。平和は二つの思いがぶつかる時、すでに崩される。神様のみ旨に自分の思いを合わせる時、人は平和の内にある。神様のみ旨は常に愛、愛を行うところに平和がある。ミサ聖祭はキリストの愛を学ぶ学校であり、平和の広場である。(於岡山教会)

\*「信仰年勉強会」

「カテキズムを深めよう」場所:岡山教会 講師:シスター高木貞子(ナミュール・ノートルダム修道女会)

第一回は二月二十日、第二バチカ公会議後、ミサがどのように変わったか、信仰年をどのように深め過ごしていけばいいかということを中心にお話があった。今後の予定:第二回四月十四日、第三回十月、第四回(最終)十月。

海峡からの風 28

下関労働教育センターだより

●二〇〇七年、安倍首相は「日本軍による女性の組織的な強制連行の証拠はない」という発言をし、米国議会やマスコミが猛反発した。二〇一二年にはクリントン国務長官が「慰安婦」という表現は間違っている。強制的な日本軍の性奴隷だった」と発言する。●まず、安倍首相の発言は虚実だ。一九四四年、ジャワ島のスマラン郊外で日本軍は民間人抑留所から十七歳二十代のオランダ人女性を慰安所へ強制的に連行している。これは「スマラン事件」と言い、戦後オランダによるバタビア裁判で「軍の名の下に若い女性を売春目的で強制連行し、理解出来ない日本語の承諾書に署名させ、女性を各慰安所に分け与えて、売春を強制し、強姦した。」と認定されている。その他、日中戦争に従軍した兵士たちが現地で「慰安婦狩り」をした証言も残されている。朝鮮

半島の場合、日本の植民地下であり、斡旋業者による欺罔・甘言・詐欺などによって騙されて慰安婦にされたケースが多く、日本の裁判所も事実認定をしている。●そもそも当時の国内法でも「刑法第三十三章『略取及ヒ誘拐ノ罪』で国外移送のための人身売買や誘拐は犯罪であった。また、日本も加盟していた「醜業ヲ行ハシムル為ノ婦女売買禁止ニ関スル国際条約」でも、勧誘・誘引・誘拐・詐欺・暴行・脅迫・権力乱用その他一切の強制手段は「罰せられるべし。」と規定している。要するに「法」をも無視して運用されたのが「慰安婦制度」であり「強制」の有無の問題ではないのだ。●以前から安倍首相は、「河野談話」のへ見直しに熱心だったが、政権を担った途端、関係国との外交問題化を恐れて口を閉ざしている。しかし、人権問題は政治運営の都合で認否されたり留保されるものではない。(廣崎リュウ)

山口・島根地区

\*修女連の集い

二月十一日(月)、山口のカルメル修道会においてイエズス会のイバニエス師によるお話を聴いた。

\*二〇一二年度養成関係

「徳山教会四旬節黙想会」

二月九日(日)に、地区養成「霊操」の二環として徳山教会で、英(はなふさ)神父様指導の四旬節黙想会が行われた。岩徳ブロック内だけでなく、下関や宇部、廿日市も含め、六十余名が参加した。

次回は十二月八日(日)、宇部小野田ブロックの予定。

\*平和アピール1981記念行事

二月二十四日(日)、三地区同日開催ヨハネ・パウロ二世来広の記念行事として、山口島根地区では、午前中、朝日新聞Be「心の歌」執筆者の伊藤千尋さんによる憲法九条や脱原発についてのお話。午後はグループごとの分かち合いとミサで締めくくった。信徒以外の飛び入り参加者もあった。

\*地区少年の集い「親の集い」

信仰年に当たり、四月二十一日(日)に、山口カトリックセンターにおいて「親の集い」を開催する。講師は、シスター高木(たかき)慶子(よしこ)さん。テーマは、「子供の信仰教育」。参加費は無料。弁当代は五百円。詳細については、少年の集い係まで。

\*信仰年地区大会について

信仰年に合わせ、山口島根地区では、六月二十二日(土)に地区大会①研修会〈徳山教会〉と十月二十日(日)に地区大会②フェスティバル〈山口教会〉を開催する。

※イバニエス神父と英神父のお話CDと二十六世人無声映画のDVDあり。ご利用命は地区事務局まで。



伊藤千尋さん

広島教区の施設 ⑦ 社会福祉法人カリタスの園 聖心保育園の紹介

三原市東町三丁目に位置し、瀬戸内の島々や海の眺めもよく、子どもたちは音を聞き分けて駆け寄り、迫っては左右に分かれて走り去る新幹線とJRの列車に手を振ることが出来る、そんな立地条件にも恵まれているのは、これから紹介させていただく聖心保育園です。

当園の創設は、戦後、イエズス会の神父様が福山教会から毎月個人宅を訪問し

てミサを捧げておられた事に端を発します。創立者はフランシスコ・マイエル神父様で、一九五一年二月に正式に認可を受け、今年三月に六三回目の卒園式を迎えることができました。途中、

長崎純心聖母会、教区、聖心侍女会、イエスのカリタス修道女会へと運営が引き継がれ、現在に至っています。創立当初から今日まで、子どもたちは、教会と地域の皆様方の慈しみ深いまなざしに見守られながら成長し、元気にのびのびと、一日七時から一九時までの園生活を楽しんでいます。

以下に、当園のビジョン、園児たちのミッションを紹介し、園における日々の保育・教育の様子をお伝えしたいと思います。聖心保育園のビジョン：『聖心保育園は、イエス様の聖心の愛(優しさ、温かさ)に包まれて、一人ひとりが大切にされていることを実感し、互いの気持ちを分かち合い、支えあう家

庭的な保育園です。安心できる環境の中で、子どもたちは、明るく生活し、人と人とのふれあいを通して、祈る心、感謝の心、思いやりの心を養います。関わるすべての人々と協力しながら、家庭、地域、社会を明るく照らす光となるよう、共に歩んでいきます。』  
園児のミッション・・・【みこころほいくえんのこどもたちは、イエスさまとマリアさまにまもられておいのりをし、おはなしをよくきき、おともだちをたいせつにするやさしいこども、ほんとうのことがいえるつよいこども、すすんであいさつのできるあかるいこどもになります。】  
(園長シスター高平恵)



### 青少年の活動

## 第47回中国ブロック カトリック高校生大会

「信仰からの奉仕 信仰への奉仕  
～わたしに繋がっていなさい～」

3月23日～26日



穴があいた手

岡山・岡山南教会

キムヨンス  
金楹洙 神父

中国ブロックカトリック高校生大会（中プロ）は、信者・未信者を問わず、三ノ高三の学生が集まり交流をする。今回の参加者は四十四名。大会の中で、中心的役割を果たすのがセミと呼ばれる

る班ごとに集って話し合う「セミ別トーク」。今回は全部で約七時間テーマについて話し合った。「今の私が存在するために、過去にどのような人・ものと繋がりがあったか」から出発し、「今の私の繋がり」を考え、

最終的には「私達の繋がりの中心に神様がいる」という意見も出た。また、夕の祈りでは東日本大震災のために祈り、「祈り（神様）を通して直接会っていない人とも繋がることのできる」と実感した。このよう

事なサインです。皆様の

「手」を眺めてください。

そして、あの高く掛つてい

らっしゃる方の栄光である

「穴があいた手」を眺めて

ください。その手にあいた

穴を否定しないで、恐れず

に眺めてください。その穴

を通して世界を眺めると何

が見えるでしょうか。

私達の「手」をあなたの

「穴があいた実存」に似せ

てください。穴があいた

あなたの手」を通して、世

界に現れたあなたの真理を

眺めさせてください。ま

た、見た真理を誇らしく証

しることができましように。アーメン。



皆様は、自分の大事なものを他の人に与えた経験がありますか。また、他の人の大事なものを頂いた経験がありますか。すべての「受ける」ということの前提として「与える」ということがあります。すべての「与える」ということの前提として「受ける」ということがあります。この二つの言葉は、ここでは反対語ではなくお互いに必要な条件です。私の叙階カードのテー

マは、「与えること」と「受けること」の象徴である「手」です。しかもこの手は、「穴があいている手」です。この手は世界と人間を創造し、選ばれた民族イスラエルを導かれた手と同じ「手」です。何も持つことができない手であるが、同時にすべてのものを持っていて、絶え間なく与える逆説的な手。この穴があいている手は、確かに旧約と新約を繋げてくれています。つまり、穴があいている手によって創造された私達の手もやはり「穴があいている手」にならなくてはいけません。これは私達が神様

に似ているという証です。しかし、私達はその穴を塞いでしまおうとし、見るこ

とさえ嫌がりま

す。私達は

何かを手に入れるのは上手

ですが、持っているものを

手放すときは迷います。

イエス様と共に歩んだ人

達は、イエス様がしるしを

なされた手によって、自分

の手を見つめ、その「穴が

あいている手」を受け取った人達でした。その人達は、イエス様の十字架（穴が開いた実存）を眺めることができませんでした。



本格的に教区報に携わりはや二年が経ちました。広島教区のことを把握できて良い仕事と思っております。ただ、一人の信徒の方に負担が集中していることが、いつも気がかりです。技術的な面もあり、私にできるのは笑顔で楽しく携わることです。（ぎん）



に感じられたのは、セミ別トークでテーマについて深く考え、お互いの話をよく理解し、強い絆を持つことができたからではないだろうか。今回参加者たちは、神の内に直接的に繋がりがあえる体験ができたと思う。